

国語科 「話すこと」の学習指導事項系統

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
的確に話す ・話題 ・相手 ・形態	1 相手の顔を見て，はっきりと話す。 2 身近な生活経験を話す 3 住所，生年月日など簡単な自己紹介ができる。 4 日常の簡単な挨拶や返事ができる。 5 伝言，電話の対応ができる。	1 伝えたい相手と伝えたい事柄を考えて話そうとする。 2 相手や場に応じて，ていねいな言葉を使ったりあいさつをしようとする。 3 身近な出来事や人，ものについて，紹介したり，説明したり，感想を述べたりする。 4 伝言，電話の対応が要領よくできる。	1 伝えたい相手と伝えたい事柄を意識して話そうとする。 2 相手や場に応じて，ていねいな言葉を使ったりあいさつをしたりする。 3 身近な出来事や人，ものについて，紹介したり，説明したり，感想を述べたりする。 4 伝言，電話の対応などが要領よくできる。	1 目的や意図に合った話題を選ぶ。 2 相手や場に応じて，言葉を使い分けることやさまざまなあいさつがあることを意識する。 3 質問・報告・説明・意見発表などの話し方を意識しながら話す。	1 目的や意図に合った話題を選ぶ。 2 相手や場に応じて，言葉やさまざまなあいさつを使いわけける。 3 質問・説明・報告・意見・発表などが要領よくできる。	1 その場に相応しい話題を選ぶ。 2 相手や場に応じて適切な言葉を使うとともに，心をつなぐあいさつをすることができる。 3 相手の気持ちや立場を考えながら質問・報告・説明・意見・発表などがはっきりと要領よくできる。 4 聞き手の反応をとらえながら話す。
構成を考えて話す ・時間 ・中心 ・順序 ・メモ ・プレゼン	6 伝えたい内容をはっきりとをもって話す。 7 主述を意識しながら話す。 8 身近な生活経験の順序にそって話す。 9 実物や絵・写真などを見せながら話す。	5 伝えたい内容をはっきりともち，それにそって話す。 6 経験したことや見聞したことと感想を添えて話す。 7 生活経験の順序や事柄の順序を整理して話す。 8 大事なことに気を付けて話す。	5 話の中心が分かるように，区切りに気を付けて話す。 6 経験したことや見聞したことと感想を添えて話す。 7 事柄の順序を整理しながら話す。 8 メモをもとに大事なことに気を付けて話す。	4 決められた時間を守って話すことができる。 5 自分の考えをまとめ，中心をはっきりと話す。 6 自分の意見と理由を対応させながら話す。 7 筋道をはっきりさせて話す。 8 メモをもとに，大事なことを落とさずに話す。 9 資料・絵や掲示物を使って話す	4 決められた時間の使い方を考えながら話す。 5 自分の考えをまとめ，内容を整理して話す。 6 自分の意見を理由や根拠と対応させながら話す。 7 筋道をはっきりとさせ計画的に話す。 8 メモをもとに，大事なことを落とさずに話す。 9 資料・絵や掲示物を使って話す。	5 決められた時間を効果的に使い，時には瞬時の工夫を加えて話す。 6 全体の構成を考え，内容の軽重を工夫して話す。 7 事実と感想・意見の対応に留意しながら話す。 8 聞いたり読んだりした叙述や構成の仕方を参考にしながら，聞き手に伝わるよう意図的に話す。 9 構成メモを活用しながら，効果的に話す。 10 資料・絵や掲示物を効果的に使って話す。

国語科 「話すこと」の学習指導事項系統

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
豊かに話そうとする態度	<p>10 みんなの前で落ち着いて話す。</p> <p>11 表情豊かに生き生きと話す。</p> <p>12 声に出すことを楽しむ。</p>	<p>10 知らない人の前でも友好的に話す。</p> <p>11 様子や気持ちを表す具体的な言葉を使って生き生きと話す。</p> <p>12 話すことを楽しむ。</p>	<p>10 知らない人の前でも友好的に話す。</p> <p>11 様子や気持ちを表す具体的な言葉を使って生き生きと話す。</p> <p>12 話すことを楽しむ。</p>	<p>10 相手の気持ちを考え、親しみのある態度で話す。</p> <p>11 いろいろな言葉の遣い方や話し方の善し悪しに目を向けながら話す。</p> <p>12 いろいろな表現などを工夫しながら話すことを楽しむ。</p>	<p>10 相手の気持ちを大事にし、親しみのある態度で話す。</p> <p>11 言葉の使い方や話し方の善し悪しや効果に目を向け、自らの話し言葉を振り返りながら話す。</p> <p>12 いろいろな表現などを工夫しながら話すことを楽しむ。</p>	<p>11 話すことによって、さらに自分の考えを確かにする。</p> <p>12 相手の気持ちを尊重して話す。</p> <p>13 言葉の使い方や話し方に対する感覚を磨き、言葉の自覚に立て話す。</p> <p>14 豊かに話すことを楽しむ。</p>
音声・非言語要素	<p>13 姿勢や口形に注意して、はっきりとした発音で話す。</p> <p>14 幼児語を使わないで話す。</p> <p>15 相手に届くような声で話す。</p>	<p>13 はっきりとした力強い発声・発音で話す。</p> <p>14 その場の状況に応じて、適切な声の大きさで話す。</p> <p>15 話すときの動作や姿勢に気を付けて話す。</p> <p>16 体全体で声を出す。</p>	<p>13 はっきりとした力強い発声・発音で話す。</p> <p>14 その場の状況に応じて、適切な声の大きさや速さで話す。</p> <p>15 話すときの姿勢を意識する。</p> <p>16 体全体で声を出す。</p>	<p>13 声を相手に届けることを意識して、力強い発声・発音で話す。</p> <p>14 イントネーション、プロミネンスなど声の表情に気を付けて話すことができる。</p> <p>15 話の内容に相応しい身振りや表情をすることができる。</p> <p>16 聞き手の反応を確かめながら話すことができる。</p>	<p>13 声を相手に届けることを意識して、力強い発声・発音で話す。</p> <p>14 イントネーション、プロミネンスなど声の表情に気を配りながら話す。</p> <p>15 話の内容にふさわしい身ぶりや表情をする。</p> <p>16 聞き手の反応を確かめながら話す。</p>	<p>15 自分の声を聞きながら、深い、力強い発声・発音で話す。</p> <p>16 イントネーション、プロミネンスなど声の表情、間などを意識して話す。</p> <p>17 話の内容に相応しい身振りや表情を意識しながら話す。</p> <p>18 聞き手の反応を確かめながら、必要だと感じたところは工夫を加えて話す。</p>